

沖縄バリアフリープロモーター候補者 推薦書

1. 候補者の基本情報

氏名	田中 寛
所属(注1)	公益社団法人沖縄県手をつなぐ育成会
役職	理事長
連絡先	TEL: -
	E-mail: -

(注1)国の行政機関又は地方公共団体の場合は当該行政機関名又は地方公共団体名及び所属課室、法人その他の団体の場合は法人等の名称及び所属部署等を記載

(注2)推薦者が民間企業に所属する者の場合、推薦者が所属する法人又は所属する法人のグループ法人の社員の推薦は認めない。

(注3)推薦書の提出にあたっては、推薦書の提出について候補者に事前の連絡をすること。

2. 推薦理由等

候補者がプロモーターに適任と思われる理由	<p>候補者は、障害のある人でも共に生きていける社会づくりを目指し、知的障害のある方やその家族にむけたさまざまな教育、福祉、就労などの施策の整備、充実を求め呼びかけを行っている。</p> <p>特に障害者本人の高齢化への備えとともに、高齢化する家族同居への支援の具体的な提案も含めて、児童学齢期からの支援、インクルーシブ教育の推進と特別支援教育の充実、地域支援および家族支援の強化を重点課題としての活動を行い、沖縄県の障害者福祉施策に関する会議に参画するなど、法人及び個人としての活動実績が評価されている。</p>
候補者が中心的な役割を担ったバリアフリー施策・事業等	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄県障害者施策推進協議会参画(会長) ・沖縄県障害を理由とする差別等の解消に関する調整委員会参画(副会長) ・沖縄県福祉のまちづくり審議会参画 ・特定非営利法人 おきなわ自立支援センターの運営 他
当該施策・事業等の概要がわかる資料(URL等)	<p>別紙参照</p> <p>http://www.oki-iku.com/pages/detail.php?PageID=6</p>

3. 推薦者

所属	沖縄総合事務局運輸部企画室
役職	室長
氏名	村上 隼
連絡先	TEL:098-866-1812
	E-mail: unyu-kikakuj2a@ogb.cao.go.jp



沖縄県警察学校の学生さん達へ講話 〜知的障がいのある方への対応等について〜



1月23日(月)、沖縄県警察学校にて、障がい者理解および障害者制度など65名の生徒の皆さんに80分間、講師として授業を行って来ました。当学校では警察官の職務を行うために、一般教養や法学、体力づくりや精神力の錬成、職務執行上の基礎知識や技能の習得など警察実務などを学んでいます。

障がいのある方への対応等について、皆さんは卒業後現場に派遣されます。コミュニケーションや判断力に問題のある発達障がいや知的障がいのある人が、事件に巻き込まれることが無いように、その特性や行動を警察官にはぜひ理解していただきたいと思います。

昨年8月に続き、1月18日にJICA(独立行政法人国際協力機構)の研修「地域に根差したインクルーシブアプローチ」による障がい者の社会参加と生計」の講師として、コロンビア、パナマ、パラグアイからの研修員に、沖縄における障がい者支援や家族の係わりについてお話をしました。JICAは技術協力などの援助手法を一元的に担う、総合的な政府開発援助(ODA)の実施機関で、開発途上国への国際協力を行っています。研修員は、それぞれの国の行政関係者が中心とみられ、長期間に亘って日本や沖縄県の福祉制度に關連した障がい者の環境や情報等を調査し、自国で有効活用するシステムとなつていきます。世界にはまだ経済発展途上の国が多数あるために、この試みの意義は大変大きいのです。

ダウン症の娘が誕生した41年前、生後3か月検診の折に田舎の小さな医院の高齢な医者から「この子はダウン症だから、3年位しか生きられない」と告げられました。当時、異業種にいた私は福祉はおろか障がいのことなど時代の外漢で、情報収集も思うに任

琉球新報への寄稿〜1月28日掲載
沖縄県手をつなぐ育成会理事長 田中寛

「障がいの子へ健やかな未来を」

せ、専門家である医師の言葉は重く、疑うべくもありませんでした。その後、多くの病院を巡り、ダウン症であつても心疾患や内臓疾患など他の病に重複することさえなければ、元気で老後を迎える事もできるとわかり胸をなでおろしましたが、その時に受けた不安や絶望感を未だに忘れることが出来ません。

障がいのある我が子の育児や学齢期、さらには老後に至るまでの生活に対する不安は、家族なら誰しも思い悩み苦しむはずで、そこに実例を交えた適切なアドバイスや情報があれば、どれほど心が癒されるか計り知れません。現在では全国20万会員を有する私たち保護者を中心とした全国手をつなぐ育成会ですが、その発起人は我が子の社会生活への対応に不安を感じた3名の母親たちでした。悩み苦しんできた辛い生活体験を、あとから続いてくる若い親たちに同じ思いを与えないために、家族の係わりや支援の在り方、さらには政策や制度への対応等の情報を伝達する役目は、私たち先人にはあります。「20歳、いや40歳で短命だ」と言われてきたダウン症の人達ですが、「何歳まで?」と言う寿命にはこだわらずに、元気で健やかに、そして私達家族にとつてかけがえのない存在として社会生活を送っている姿を、私達は誇りとして後輩たちに伝えていきたいと思つています。

手をつなぐ・うちな

知的な障がいのある人と共に

県育成会のHPにも掲載中

発行所
沖縄県手をつなぐ育成会
那覇市首里石嶺町4-373-1
沖縄県総合福祉センター内
TEL 098 - 882 -5727
FAX 098 - 882 -5720
E-mail: oki-iku@woody.ocn.ne.jp
HP: http://www.oki-iku.com/
発行人 理事長 田中寛
定価 50円(会費を含む)

【目次】

P1	琉球新報寄稿・警察学校での講話
P2	沖縄県事業所協議会交流会
P3	本人意見文・理事通信
P4	理事長予定・ゆんたく広場他



JICA講演会

5月29日(水)、独立行政法人国際協力機構(JICA・ジャイカ)の依頼を受けて、浦添市の国際センターにて講演を行いました。

開発途上国における障がい者の社会参加推進のため、各国において障がい者の就労支援や社会参加促進に従事する行政組織やNGOスタッフに、「地域に根差したインクルーシブアプローチによる障害者の社会参加と生計」というJICA課題別研修として、「沖縄県手をつなぐ育成会の歴史と活動」というテーマで、知的障害についての研修講師を務めました。

私自身は現在には年に3回ほど、この研修に携わっており、今回はスペイン語圏15人の研修でした。私たちの活動並びに地域での取り組みなどが、研修生の自国で活用していただければ幸いです。



参加者の皆さんと集合写真♪

販売期間：5月7日～7月29日

長崎・島原名産 島原手延そうめん販売

沖縄県手をつなぐ育成会チャリティー実行委員会より、育成会運営資金支援事業にご支援ご協力いただき感謝申し上げます。

沖縄は8月中旬にお盆を迎えます。ご先祖様へのお供えや、日頃お世話になった方へのご進物に、美味しいと評判の高い「島の手延べそうめん」はいかがですか？皆様のご注文を心よりお待ちしております。

各市町村親の会、施設父母の会など、また直接沖縄県手をつなぐ育成会までお問い合わせください。



商品名		小売価格	販売価格
島原の細糸	H-40	4320円	2700円
	O-30	3240円	2100円
	O-20	2160円	1600円
島原小町	E-33	3564円	2400円

♪連絡先♪

【沖縄県手をつなぐ育成会】

那覇市首里石嶺町4-373-1

県総合福祉センター内

E-Mail oki-iku@woody.ocn.ne.jp

TEL 098(882)5727

FAX 098(882)5720

してはいかががでしょうか。私の息子(二男)は昭和63年生まれで、昭和から平成、令和と生きて来ました。現在31歳です。奇跡です。生まれながら5カ月頃、検診で異常が見つかりました。10万人に一人という確率で生まれてくるそうです。医者から長く生きて1年半か2年だと言われました。ショックでした。妻の方がもっとショックだったと思います。朝起きて目を覚まさない事がいつ来るかわからないとも言われました。私と妻は親として今の現実を全て受け入れる覚悟をし、子育てをしました。健康診断を受ける度に心臓の再検査でした。16歳頃まで自分では体温調整ができず、養護学校の先生方には大変お世話になり感謝しています。今は、たまぐすく作業所で、元気に作業を頑張っています。一日一日を大切に、一生懸命、また楽しく生きていく事を教えられた気がします。新元号、令和に変わり改めて気持ちを確認し、これからも息子を中心に生活して行きたいと思えます。



— 新元号、令和に変わり —

理事通信

理事 百名 聡

障害者虐待防止・権利擁護訪問研修 ～よもぎ学園・琉球病院にて開催～ (講師：田中理事長)

ヘルプマークの説明も行いました+



令和2年2月16日(土)に、「社会福祉法人育成福祉会」では保護者の皆さんを対象とし、2月27日(木)には「国立病院機構琉球病院」職員研修として、主に現場の看護師さんを対象とした厚生労働省指導者伝達訪問研修を行いました。この研修は、障害者虐待への理解を促進し、障がい者虐待の防止、権利擁護を図る為、障害者福祉施設や市町村職員などを対象に、障がい者虐待防止の趣旨、虐待防止に係るスキーム、障害者福祉施設における虐待防止の取組等の組織・運営体制づくり、利用者への意向に沿った支援のスキル等について研修し、障がい者の虐待防止、早期発見に向けた取り組みの推進を目的として、昨年8月に開催された厚生労働省指導者養成研修の伝達研修であります。以上、この研修の講師に係らせて頂いた方への虐待内容や防止の取組、研修後、通報の重大さなどを伝えてきました。研修後に回収したアンケートの内容は、自分の内容で一番多くいただいた回答は、「自分自身の上から目線で自分の感情を相手に押し付けている」という回答が最も多かった。研修後、通報の重大さなどを伝えてきました。研修後に回収したアンケートの内容は、自分の内容で一番多くいただいた回答は、「自分自身の上から目線で自分の感情を相手に押し付けている」という回答が最も多かった。

研修後、通報の重大さなどを伝えてきました。研修後に回収したアンケートの内容は、自分の内容で一番多くいただいた回答は、「自分自身の上から目線で自分の感情を相手に押し付けている」という回答が最も多かった。研修後、通報の重大さなどを伝えてきました。研修後に回収したアンケートの内容は、自分の内容で一番多くいただいた回答は、「自分自身の上から目線で自分の感情を相手に押し付けている」という回答が最も多かった。

♪ 県育成会のHPにもカラーで掲載中♪

手をつなぐ・うちな

知的な障がいのある人と共に

発行所
沖縄県手をつなぐ育成会
那覇市首里石嶺町4-373-1
沖縄県総合福祉センター内
TEL 098 - 882 -5727
FAX 098 - 882 -5720
E-mail: oki-iku@woody.ocn.ne.jp
HP : http://www.oki-iku.com
発行人 理事長 田中 寛
定価 50円 (会費に含む)

【目次】

P1	虐待防止・権利擁護研修(訪問)
P2	私の声を届けます
P3	寄稿文・理事通信
P4	県育成会予定・ゆんたく広場他

障害者虐待防止・権利擁護訪問研修 ～宮古地区にて開催～ (講師：砂川副理事長)

2月19日(水)、厚労省の伝達研修として「沖縄県障害者虐待防止・権利擁護研修」を宮古島のみやこ学園にて行いました。

宮古地区での開催は初めてとのこともあり、当日は、60余名の多くの参加者が集まり、保護者、職員、行政からの参加もありました。今回は職員の参加者が多いとすることで、「職員向け」に焦点を絞り、お話をさせていただきました。

虐待は表裏一体で、自分が“この支援方法は正しい(本人のためにもよい)”と思い行っても、本人にとっては苦痛なことで、虐待になる場合もある等について研修を行いました。

質疑応答の時間も多く取られ、活発に意見交換ができ、私もとても勉強になる研修でした。



